

2024年5月29日(水)第五水曜祈祷会

出エジプト記36章1～38節

『あり余るほどのささげ物』

【『幕屋建設の開始』『心動かされ知恵を用いて』 35章】

※いよいよ幕屋の建設が開始される。ここからの数章は概ね25—31章の指示の繰り返しである。

- ①主はまず、安息日の規定、奉納物として受け取る品目、作製すべき物品リストを示された。
- ②「心を動かされた者」「霊に促しを受けた者」がみな、心から進んで主にささげ物をもって来た。
- ③主は幕屋建設のため知恵と神の霊に満たされた職人たちを召し、人を教える力を与えられた。

【観察と黙想】

1. あり余るほどのささげ物(36章1～7節) *

①モーセは、ベツアルエルとオホリアブおよび職人たちにどんな仕事をするように命じましたか。

→

②モーセが呼び寄せた職人たちは、どういう者たちですか。

→

③職人たちは、聖所を造る奉仕の仕事を始めるに当たって、まず何をしましたか。

→

④民の奉納物は、どのようにモーセのところに持ってこられましたか。

→

⑤民が朝ごとに何度も献げものを持ってくることによって、資材はどうなりましたか。

→

⑥あり余るほどのささげ物は何を表していますか。

→

2. 幕屋の建設(36章8～38節)

①幕屋の幕にはどんな模様が織り出されましたか(26:1参照)。

→

②幕屋の上に掛ける天幕、さらにその上に掛ける覆いは、何で作られましたか。

→

③幕屋に立てる木柱(または板)には、どんな材料が使われましたか。

→

【適用と分かち合い】

- ①「すべて主が命じられたとおりにしなければならない」とは、どういうことですか。
- ②主に喜ばれるささげ物をするには、どうすればいいでしょうか。
- ③あなたの「賜物」は何だと思えますか。それは、どういうものですか。
- ④主へのささげものについて、パウロはどのように教えていますか(Ⅱコリント9:6—15参照)。